

# 「天文活動最終章へ」

桑田直宏

「星なかま姫路」設立 30 周年おめでとうございます。30 年前といえば、私は天文活動を再開した頃です。この会に入会して 27 年になります。その間、プライベートも仕事も、そして天文現象でもいろいろなことがありましたが、過ぎてみればあっという間の 30 年でした。

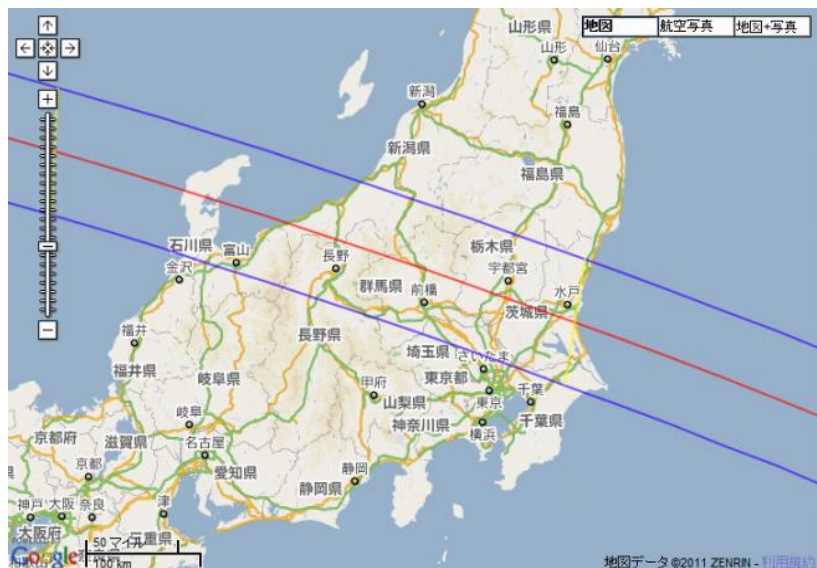
私も 65 歳になり、あと何年天体観測ができるのだろうかと考えるようになりました。自分的には 80 歳まではやりたいのですが、のんびりしているとすぐに 80 歳になってしまいます。もしかしたら、寝たきりになってしまうことだってあります。これからの 15 年は天文人生最終章と位置付け、一つ一つの天文イベントを「これが最後」と思って心に刻んでいこうと思っています

## 今後の目標

- ハワイ・マウナケア山頂の天文台に行く
- エベレストを見るトレッキングの旅に行く ※4000m 級の場所で星空を見る
- パロマー天文台とバリンジャークレーターを見に行く
- オーロラを見に行く
- 2022 年 5 月 波照間島で南十字星を見る
- 2024 年 4 月 アメリカ・メキシコ皆既日食を見る
- 2027 年 8 月 エジプト・ルクソールでの皆既日食を見る
- 2028 年 7 月 シドニー皆既日食と南天の星空を見る（最後の南天星空）
- 2035 年 9 月 日本の皆既日食を見る（自分的に最後の天体イベント）

## 80 歳まで天文活動をするための条件

1. 100 歳まで自分で動ける体の維持
2. 80 歳までは自分で車を運転
3. 白内障の手術と目のケア
4. 天文以外の趣味の絞り込み



2035 年 9 月 2 日の皆既日食

中学校 2 年生の時、夏の野外活動のキャンプの夜に見た天の川とペルセウス座流星群に魅了され、天文が好きになってから 50 年の歳月が過ぎた。いろいろな遊びやスポーツ、体験をしてきたけれど、自分にとって一番長く続き、これからもやりたいと思うのが天体観測なのです。あと 15 年天文をするためには、「老化との闘い」が待ち受けています。